

C LINICAL RESEARCH WARD

先端的プロジェクトの推進

当研究所附属病院の前身は、明治25年（1892年）に設立された大日本私立衛生会附属伝染病研究所（初代所長 北里柴三郎）に附置されたことに始まり、その後の研究所の所管の変遷に伴い現在の形に至っています。

設置当初から第二次世界大戦後にいたるまでは、伝染病対策のための特殊な診療施設でしたが、その後、外科、放射線科、人工臓器移植科そして感染免疫内科が開設され、当初からの内科を含めた5診療科が揃い、そのほか、検査部、輸血部、手術部、薬剤部、看護部等を設置しています。また、放射線室、手術室、材料室、内視鏡室、透析室、核医学検査室、病歴中央管理室が置かれ、診療の充実を図っています。

診療内容も時代と共に大きく変貌を遂げ、プロジェクト病院として機能することにより、その存立基盤を明確にしてきました。具体的には、骨髄移植、エイズ診療、臓器移植という3本のプロジェクトが立てられました。

今年は、「エイズ総合診療部（仮称）」が認められ、外来、病棟、



サイクロトン棟（廃止）の改修工事も始まります。

今日、一般の大学病院においては、その存在基盤が問われていますが、当院は、これからは数少ない研究所病院としての特殊性を活かし、基礎研究部との密接な連携のもとに分子医科学に基づいた細胞移植・遺伝子治療という先端的プロジェクトを全国共同利用の形で進めていく計画です。

AWARDS

受賞

細菌研究部
岡田信彦

黒屋奨学賞

1993年3月25日



細菌感染研究部
金ヶ崎士朗

日本細菌学会浅川賞

1993年4月1日



病態薬理学研究部
浅野茂隆

日経BP技術賞
（医療部門）

1994年4月6日



ウイルス研究部
野本明男

日経BP技術賞

1994年4月8日

